

DIY×OTS

「効率よく作業を進める」「生産性を高める」はあらゆる企業で追求されているかと思いますが、オーティーエスでも保管効率の向上、作業効率の向上を目指し、様々な側面から日々カイゼンを行っています。今回の OpenTalkS! では【DIY】によって効率化や労働環境の改善に成功した実例を特集したいと思います！

商品の保護と作業の安全性を両立した工夫や、いかに素早く正確にピッキングするかなどオーティーエスだからこそ生まれる DIY で、日々業務効率が向上するように取り組んでいます。

Vol.171
2024 May

The OpenTalkS

フツとした思い付きが仕事の効率を爆上げさせる！ DIYが可能にする、OTS独自の効率化施策！

『利便性UP、効率UP、ミスリスクDOWN』DIYで業務改善を！！

どんな仕事も品質を上げるにはカイゼンの連続。道具や設備、システムの導入など購入できるもので解決することもあります。痒いところに手の届く理想の道具は、自分たちで作るしかないでしょ(*▽*)



▲SKU数の多い商品の保管効率アップのため、棚の中に段ボールで小分けの棚を作り、個別にロケ管理できるように工夫されている。ピッキング効率も大幅アップ☆



▲タグやシールのロールは積み上げると下にあるものが取りにくく、立てて並べると転がってしまいます。そんな問題を一挙に解決した素敵なアイデアDIY。



▲暗くなりがちな倉庫内。ダクトレールを使用し、欲しい位置に照明を設置。



▲日本で唯一、ジュエリーの物流を受託しているオーティーエス。その本拠地である新砂センターではジュエリー/アクセサリーを取り扱うための様々な工夫が施されています。アパレルの物流と大きく違うところは商品が小さく、スペースも大きく必要としないため、座っての作業が多くなるのが特徴です。新砂センターで見つけたDIYは、座ったままの作業を効率化するための特別な棚！手前に向かって棚に傾斜をつけることで、座った状態でもものの出し入れが容易で、かつ視認性も向上しミスの低減にもひと役買っています。



効率化だけじゃない。働きやすさを向上させる愛にあふれたDIY♡

作業効率や保管効率の向上も大事ですが、それを下支えする働く人たちの職場環境を改善することもとても大事なことです。大きなセンターでは200名を超える人員が働いているため衛生面や利便性に問題があると、センター運営全体に大きな影響を及ぼすことにもなりかねません。

今回ご紹介するのはターミナルセンターの職場環境改善DIY。このセンターにはプライベートでもDIYを趣味としている社員がおり、もはや業者レベルの施工がDIYでなされています！



▲OTSの使用館には停止しないエレベーター前のデッドスペースも、DIYなら素敵に有効活用可能！



▲広い倉庫全体に空調を行き渡らせるのは至難の業！ターミナルセンターでは社員がダクトを設置し、人の集まる作業場に冷気/暖気が届くように環境改善しました。



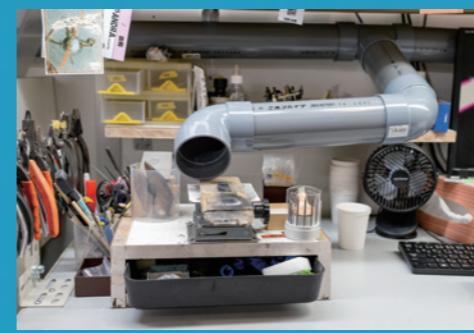
クリエイターの血が騒ぐぜ！物流部門にも負けない 器用さを最大限に生かした専門職チームのDIY！！

ジュエリー修理業務は創意工夫が命！

様々な修理案件が舞い込む新砂センターのジュエリー修理室。案件ごとに商品も違えば、修理内容も違います。そのため道具や設備を自分たちで作出すのは、修理室にとっては自然なことなのかもしれません。



▲ヘアクリップの金具部分を修理するための専用のツール。商品に傷がつかないように金具部分だけを固定させるため、精度と作業効率を大きくアップさせた。



▲金属加工では微細な粉塵の出る作業が多くあります。集塵のためのダクトをDIYで作成し、粉塵が出たそばから吸い込みができるよう工夫がされています。



▲頻繁に発生するハンダ付け作業も、専用の固定具を製作し使用している。

美しさすら感じるアパレル修理室のDIY

堀江センターのアパレル修理室からは、ダイソーの商品を使って作った、これこそ『THE★DIY！』な一品をご紹介します。様々な商品にミシンをかける必要があるため、どんな商品にも対応できるようにストックしておく系も膨大です。これまでは収納BOXの中から必要な色を探していましたが、この設備を作ることで必要な糸を探す手間がほぼゼロに！見た目の美しさも兼ね備えた素晴らしいDIYでした(´▽`)



カメラマンの思い付きが写真のクオリティに直結！撮影事業室のDIY

お客様の商品をお預かりし、主にEC用の写真を撮影している撮影事業室。ファッション用品に限らず様々なものを日々撮影していますが、最も難易度が高いのはジュエリーやアクセサリーといった光物☆いかに金属感や輝きを出すかが重要になりますが、光物ゆえに問題となってくるのが『写り込み』です。しっかりと対策しないと周りの風景や、カメラ、場合によってはカメラマン自身が商品に写り込んでしまいます。そんな写り込みをなくすための秘密のDIYツールを特別に教えてもらいました。



before



after

▲背景の写り込みをなくすために、白色のドームを商品にかぶせて撮影しています。ホームセンターで買ったプラ製の半球の頂点を丸く切り抜き、そこから商品を撮影します。テストとしてスプーンを撮影してもらいましたが、仕上がりの写真を比べるとクオリティの違いは一目瞭然ですね。

